

和なごみ

阿南市立阿南第一中学校
人権教育・啓発通信
第9号 12月22日 発行
阿南第一中学校人権教育部
文責：中道 敬

子どもたちから登校の時に、白い息が上がるのが見えるようになりました。しかし寒さに耐えながら来る彼らに大きな声で「おはようございます。」とあいさつする生徒会の声が、凜とした朝の空気に爽やかに響き、爽やかな一日のスタートを後押ししてくれています。明日から冬休みです。風邪やインフルエンザが流行する時期になりますが、心身共に健康で新しい年を迎えられればと思います。

今号は、先月行われた人権関係の行事について報告します。

「PTCでつくる人権のつどい」 開催

11月12日に、本校最大の人権学習である、「PTCでつくる人権のつどい」がありました。午後からまず、各学級で人権学習についての参観授業を行いました。



1年生はハンセン病を題材にした授業を行いました。平成15年に熊本県で起きた、ハンセン病患者の方への宿泊拒否問題についてグループで討議し、ホテル側、ハンセン病患者それぞれの立場になり、自分ならどのように行動すればよいのかを発表しました。

2年生もハンセン病を題材にした授業を行いました。あるクラスでは、ハンセン病に関する絵本の読み聞かせをした後、国立療養所

である大島青松園について説明をしました。その後、同園の塔和子さんの詩「胸の泉に」を読んで、クラス全体で考えを深めました。

3年生は、自分の能力や適性に関係のないことで就職時に不当な差別を受けて、自分のしたい仕事ができない就職差別についての学習をしました。かつて採用時に使っていた「社用紙」と、その後改変になった「統一応募用紙」を見比べて、改正された項目の中には、様々な差別が潜んでいたことに気づくことができました。

また、「就職差別につながる」とされる14項目」という、就職時の面接で何気なく聞かれる質問に潜む、様々な差別や偏見につながる項目に対しては、「その質問は私の能力や適性に関係のないことなので答えられません。」と毅然な態度で答えることの大切さを、ロールプレイを通して感じることができました。

参観授業後は、阿波市民劇団「千の舞い座」のみなさんによる人権劇「千の舞い」を鑑賞しました。本校のハン



セン病についての学習のまとめということで、生徒は演者の方々の熱のこもった演技を真剣に見ていました。「故郷が地球上で一番遠いところなんだ」というセリフに込められた演者の方が扮する、元ハンセン病患者の思いを受け、生徒は鑑賞後の感想文で、自分の思いを素直に書いて表現することができました。

以下は、ある生徒の感想文の一部です。

僕は今日の劇を見て、故郷があるのに、そこで自分が安心して暮らすことができない元ハンセン病患者の方がまだ多くいることを知りました。もし僕がその立場だったら、とても悔しいと思います。そんな思いをする人が少しでも減るように、僕らがハンセン病についての正しい知識を、できるだけ多くの人に知ってもらわなければいけないと強く感じました。

「一番遠い」ところから「一番安心できる」場所にできるよう、これからもハンセン病の学習を続けていきたいです。

また、上演後に演者の方から、「真剣に見てくれてとてもうれしかった。また機会があればぜひ阿南一中で劇を上演したい。」というお言葉をいただきました。

一中校区ブロック人権教育研究大会

11月24日に、一中校区ブロック人権教育研究大会がありました。今年度は横見保育所と横見小学校で行われ、一中校区の保・幼・小・中の職員が集まり、それぞれの校種間の連携を図るべく、研修を行いました。

午前中は横見保育所にて公開保育が行われました。子どもたちの発達段階に合ったおもちゃや教具などがたくさんあり、子ども一人一人を大切にする、職員の方々のきめ細やかな指導の一端を見ることができました。

午後からは、横見小学校の1～6年生の人権の授業を参観しました。どの学年の児童も、自分の意見を堂々と発言しながらも、クラスの友達の意見も大切にしている姿が素晴らしかったです。

授業後、本校教諭の森篤之先生が、「保・幼・小・中の連携を大切に、学校と地域が支える家庭学習の充実～『学力向上モデル地域』の取組を通して～」という演題で、学力向上に向けた具体的な取り組み方を、様々なデータを元に紹介していただきました。小学生の約83%が中学校に入ってから学習に不安を感じていることや、ゲームやスマホの使用時間が長く、家庭学習の弊害になっていることがよく分かりました。

また、講演後には情報交換会として、小学校高学年の先生方と小グループになって、公開授業についてや学力向上に向けた、それぞれの取組について話しました。特に人権学習については、それぞれの小学校での取組や指導内容について、中学校と連携を図ることを通して、同和問題をはじめとする様々な人権問題についての学習を進めていくことの大切さを再確認しました。

